

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成23年 3月31日			
	総事業費	925,564千円			
	交付金額	308,521千円			
	整備対象地域	〈BB、地デジ、IP〉 幌武意地区を除く積丹町全域 〈BB、IP〉 幌武意地区			
事業の内容	<p>積丹町については、過疎地域であり整備以前はBBゼロ地域となっていた。また、積丹町全域が地上波テレビ放送の難視聴地域であり、ほとんどの世帯が難視聴共聴施設によりテレビを視聴していた。</p> <p>平成23年7月のアナログ放送の終了に伴い、テレビを視聴するために共聴施設の改修が必要であり、住民からCATVの要望が寄せられた。そこで、当該地域の情報通信格差を是正するため、町がFTTHによる光ファイバ網を整備し、地上デジタル放送及びBSデジタル放送の再送信及びIP電話サービスを行った。また、東日本電信電話株式会社へIRU契約により施設を貸し出し、ブロードバンドサービスの提供を行った。</p>				
BB	サービス開始日	平成23年 4月 1日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	東日本電信電話株式会社			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	1,300	1,300	1,238	1,146
	加入世帯数	195	380	296	367
加入率(%)	15.0%	29.0%	23.9%	32.0%	
CATV	サービス開始日	平成23年 4月 1日			
	サービス形態	公設公営			
	契約先				
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	1,300	1,300	1,375	1,358
	加入世帯数	1,300	1,300	1,375	1,358
加入率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
評価及び課題	<p>【評価】 加入率は、整備計画時の目標は達成しており、緩やかに上昇している。情報通信格差是正の成果が出ているものと考ええる。</p> <p>【課題】 高齢者世帯の増加に伴い、加入率が増加しない状況となっている。高齢者にとっても有効なブロードバンドサービスの提供などの対策が必要となっている。 IP及び地デジ放送に係るサーバー等の更新時期の到来に向けた検討に苦慮している。</p>				